

## 立教池袋中学校・高等学校

中学入試

住所 東京都豊島区西池袋5-16-5

電話 03-3985-2707

FAX 03-3971-4930

URL <http://ikebukuro.rikkyo.ac.jp/>

帰国生受け入れ開始年度 1986年

2019年度帰国生在籍数 海外生活経験者の人数は把握していません。

帰国生のための部署/担当 国際プログラム委員会/委員長 安原章 先生

帰国生入試について					
出願資格・条件	次の両方の条件に該当する児童 ①原則として試験日時時点で、海外在留期間中または、帰国してから2年以内の学齢児童であること ②海外在留中は、日本人学校または現地校等に在籍し、その中に小学校以上に当たる学年に継続して2年以上の在籍経験があること (上記条件に近い場合、または日本の国内インターナショナルスクール在籍者、経験者は相談に応じます)				
出願書類	受験票(学校控)、海外在留証明書、帰国児童報告書				
過去3カ年の応募状況		出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	2019年	106	104	36	10
	2018年	74	72	36	12
	2017年	81	80	34	12
クラス配置・一般生との位置づけ					
クラスは一般受験者や内部進学生と混在します。どんな入試形態であっても、一人の生徒、同じ立教生として学ぶため、授業体制や進級のシステムに違いはありません。ただ、英語の特別クラスで授業を受ける場合は、クラスの配置が限定される場合があります。					
外国語・日本語の指導、取り出しや補習など					
帰国生に限定していませんが、主として英語圏からの帰国生を対象とした英語特別クラス(Sクラス)を設けて、週7時間の授業中5時間を取り出し、このうちの4時間をNative Speakerによる指導で実施しています。ESLのテキストや小説・新聞記事等を使用したオリジナル教材を使用しています。また、すべての中学生が自由に講座を選べる選科(選修教科)が中1から週に3時間もあり、自分にあった授業を選択することが出来ます。多くの教科が基礎的な学習をするA講座と、発展的な学習をするB講座を一つの時間帯に複数開講し、生徒は自分にあった講座を自由に選択することができます。					
入試に向けての事前準備や意識しておいてほしいこと					
国語と算数は基礎的な部分を効率よくこなしていけるような準備が必要です。また面接が重要視されるため、自分の海外生活体験を振り返り、人に伝えられるような準備も必要です。					
帰国生の卒業後の進路・進学状況について					
中高一貫体制なので、帰国生を含めたほとんどが立教池袋高等学校へ推薦進学しています。また、高校卒業後も約9割の生徒が立教大学を希望し、推薦で進学しています。立教大学に無い学部・学科、国公立大学を目指す生徒も毎年約1割位いて外部受験していますが、帰国生の多くは立教大学に進学しています。					
留学制度や海外大学進学支援体制について					
学校として海外への留学を積極的に奨励しています。一定の条件が必要ですが、1年以内の留学であれば、進級復学(元在籍していた学年に戻す)が出来るような配慮をしています。					
帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ					
海外での厳しい環境にありながらの受験準備には多くの困難があるものと思いますが、むしろ海外での滞在を貴重なチャンスと捉え、現地での生活体験を大切にしてほしいと思います。楽しかったことや苦しかったこと全てが帰国後の生活にきっと生かされてくる時が来るものと思います。					